



講師派遣の様子

県立情報科学高等学校でPTA講演会が開催されました。

平成16年11月16日に大分県立情報科学高等学校全校生徒約800名と保護者、教員を対象に金融広報アドバイザーの矢野英昭氏が「社会生活とお金」をテーマにお金の失敗体験談や、クレジットローンの話をしました。また、悪徳業者と被害者のやりとりの寸劇などを通して、生徒たちにローンの恐さや契約時の注意（保証人について）などを知ってもらう機会を提供できました。講演終了後のアンケート調査によると、生徒の興味は、ライフプランと株式などの金融商品を挙げており、生徒の金融への興味の高さが窺えました。

生徒の感想として「色々な悪徳商法があるとわかって良かった。ひとり暮らしするときは気をつけようと思いました。」「将来起業したいので、金融の知識を深めたい。」などが寄せられました。



◇金銭教育出前講座致します◇

学校や地域での金銭教育出前講座も行いますので、ご希望の方は、事務局までお申込下さい。

(金銭教育ビデオの貸出もできます。)



第1回金融広報アドバイザー等研修会を開催

平成16年11月17日、市町村会館（大分市）で、金融広報アドバイザー、金融学習グループリーダーが集い、標題研修会を開催しました。

来年4月から解禁されるペイオフを取り上げて、大分財務事務所の長石茂幸氏の丁寧なお話があり、とても参考になりました。

意見交換では、金融学習グループメンバーの家に「架空請求」のハガキが届いたが、勉強会で学習していたので、慌てずに対応できたなどの事例が紹介され、学習の成果を感じることができました。

今後の課題として、金融広報アドバイザーのスキルアップをどう図っていくかなどが挙げられました。

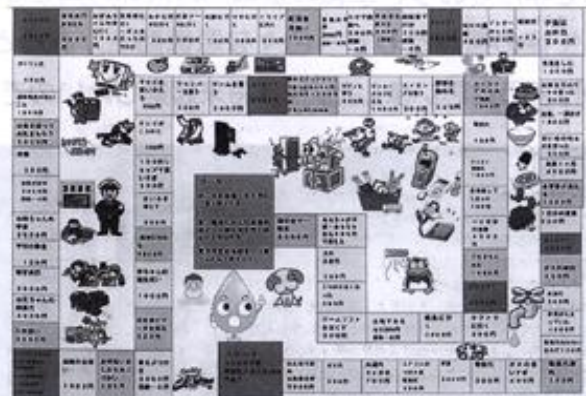
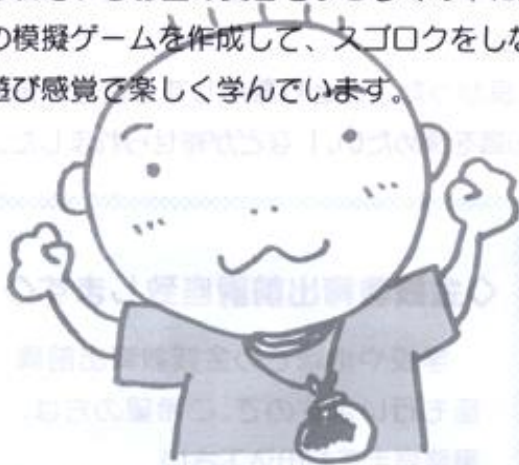
特集 金銭教育研究発表会から

平成16年11月10日に、金銭教育研究委嘱校（委嘱期間2年）である津久見市立越智小学校（津久見市四浦）で2年間の金銭教育の成果を発表する研究発表会が開催されました。委嘱2年目の今年も引き続き様々な金銭教育に取り組んで頂きました。労働の対価としてのお金を実感できるユニークな取り組みの一部を紹介します。

①朝会で学習（1年目）

越智小タイム（朝会）の時間に月1回、お金や働くことに関する内容を取り上げて学習しています。内容は「教科書がタダなわけ」「お金をよく見てみると」「ものを買うときの気持ち・予算」「どうして空きビン回収？」「ノンバンクって何？」「お金の使われ方・お金体験模擬ゲーム」等々です。

「お金体験模擬ゲーム」は、光熱費や食費・教育費や医療費・家賃や交通費など、実生活で使われているお金の費目をすごろくの中に盛り込み、お金の使われ方を実感できるようオリジナルの模擬ゲームを作成して、スゴロクをしながら遊び感覚で楽しく学んでいます。



②地域素材を使った取組み（2年目）

越智小学校の目前には海が広がっており、地元特産のひじきがたくさん獲れます。その特産のひじきを使った実践的な取組みとして、子供たちはひじき削りを体験しました。ひじきを作るには「かまど作り」「ひじき削り」「洗う」「炊く」「干す」といった労働が必要です。

子供たちが削ったひじきは全部で36キロとかなりの量になり、全てを炊くことはできませんでしたが、炊けなかったひじきは天日に干し、地元の海産物屋に売ったところ、20,000円の収益になりました。さらに、生徒の提案で獲れたひじきを使って地元のお祭りに出店することが決まり、ひじきクッキーとひじきご飯の2品をお祭り当日に市内の公民館で調理をし、夕方から出店しました。



子供たちは代わる代わる店番や呼び込みをし、商売がどんなものか体験しました。以降は子供たちの感想です。

お祭り出店の感想

- ぜんぶうれて、よかったです。「いらっしゃいませ！」といいながらうるのが楽しかったです。パンフレットをもらった人がうれしそうでした。
- たくさんの人がかって来てうれしかったです。ひじきクッキーとひじきごはんとおにぎりが、うりきれになってうれしかったです。声を大きくしていったので、とてものがいなくなりました。
- お客さんが来てくれて買ってくれたのがうれしかったです。「いらっしゃいませ！」のひとつで商売人のきもちがわかりました。売り切れてよかったです。
- ぼくはお店をがんばったと思います。なぜかという、先生や大人の人から「せんでんがうまい」といわれたからです。
- 全部うれてうれしかったです。とてもあつかったです。かぶと虫とか「つくみ愛す」（シャーベット）とかもあってうれしかったです。みんなに「がんばれ！」っていわれて、元気ができました。

子供たちが働いて得たお金は、天日干しのひじき代金・港祭りへの出店・空きビン回収などを合わせると14万円以上になりました。労働とお金の相互関係を実体験を通じて学んだ子供たちは、次の段階としてお金の使い道について考え始め、その結果みんなのために使おうという事が決まりました。

具体的な活動として「動物班」「全校社会見学班」「遊具・ゲーム班」「お礼班」の4つのプロジェクトがスタートします。

動物を飼いたいという願いから、動物の値段・飼う際の問題などを検討し、提案する「動物班」、毎年全員で行っている全校社会見学の目的地・費用を検討する「全校社会見学班」、みんなが雨の日などに遊べるような遊具・ゲームを検討し購入計画提案する「遊具・ゲーム班」、ひじきの取り組みなどでお世話になった方々にどのようなお礼をするか検討し、提案する「お礼班」、これら4つのプロジェクトを14万の予算で実行していくのです。例えば全校社会見学班のプロジェクトは、社会見学の候補地選びから始まり、候補地選択のメリット・デメリット、当日のタイムスケジュールの組立、要する費用の予算計算などしっかり計画性を持てるような学習の取り組みをおこなっています。



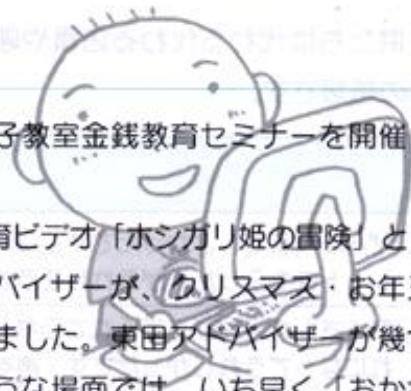
研究発表会当日（全校社会見学班のプロジェクト実施の様子）

金銭教育セミナーの開催

平成17年1月7日に大分市のコンパルホールで冬休み親子教室金銭教育セミナーを開催しました。

6歳から10歳までの子供たちとお母さんを対象に、金銭教育ビデオ「ホシガリ姫の冒険」と「ボクの犬小屋日記」を上演。セミナーでは、東田金融広報アドバイザーが、クリスマス・お年玉の話題について子供たちと、楽しく会話のキャッチボールをしました。東田アドバイザーが幾つか質問をして子供たちから「おかね」という回答を導きだすような場面では、いち早く「おかねがいるよ」と答えたりしていて、こどもたちは既におかねについて、ある程度わかっているようにも見えました。

最後にこのセミナーを機会におこづかい帳をつけてもらおうと、金融広報中央委員会が発行しているおこづかい帳を配布しました。



10月～12月の 金融学習グループ学習実施内容

金融学習グループ名	学習テーマ	実施日
桃園団地（大分市）	株式をみる	10月8日
〃	老後の生活設計	11月14日
〃	これからの介護保険	11月30日
〃	賢い蓄え方	12月10日
ワクワク（大分市）	年金に関するQ&A	10月27日
〃	税金の基礎①	11月24日
〃	税金の基礎②	12月22日
ドリーム（大分市）	税金の基礎	11月12日
暮らしと金融の会（玖珠町）	相続について	12月6日

※金融学習グループは、気の合った仲間同士で金融について学ぶグループ制度です。

（一部補助あり）大分県には現在6グループあります。

グループ結成（比較的少人数でも可能）に興味のある方は下記事務局までお尋ね下さい。

マネー情報
知るぽると

大分県金融広報委員会

事務局／〒870-0943 大分市大手町3-1-1
県民生活・男女共同参画課内

TEL 097-536-1111（内線3045）

FAX 097-532-6930

e-mail oita00000cfsi@hotmail.com